

第 28 回統計物理学国際会議 2022 年横浜開催決定！！

～ノーベル賞に次ぐ権威のボルツマン賞を発表する大型国際会議を新施設『パシフィコ横浜ノース』で開催～

International Conference on Statistical Physics -STATPHYS-

2019 年 7 月に開催された統計物理学国際会議ブエノスアイレス大会 (STATPHYS27) にて 2022 年に開催される第 28 回統計物理学国際会議の開催地が横浜に決定しました。世界各国から 1,200 人の参加者が見込まれる大型の国際会議で、日本では 1968 年に開催されて以来 54 年ぶりの開催となります。

日本における統計物理学研究の伝統と水準の高さを示す提案、統計物理学国際会議準備委員会の先生方の熱意とビジョン、さらに開催地である横浜への交通アクセスの利便性、日本の安全性、国、自治体を含めた開催に向けての関係者の協力体制などが高く評価され、北京と競合した結果、今回の誘致成功となりました。

なお、(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー、横浜市、パシフィコ横浜 ((株)横浜国際平和会議場) は日本政府観光局 (JNTO) と連携して、日本の統計物理学国際会議準備委員会 (委員長: お茶の水女子大学出口哲生教授) の誘致活動を支援しました。

大会の概要

- 名 称: 第 28 回統計物理学国際会議
(International Conference on Statistical Physics-STATPHYS28 -)
- 開催時期: 2022 年 7 月 25 日 (月) から 29 日 (金)
- 会 場: パシフィコ横浜ノース
- 参加予定人数: 1,200 人 (うち海外から 600 人)
- 予定参加国数: 約 40 か国・地域
- 大会ビジョン: 統計物理学の伝統と若手の躍動そして国際交流

統計物理学国際会議ブエノスアイレス大会 (STATPHYS27) の様子



統計物理学国際会議 開催実績

2019 年: ブエノスアイレス (アルゼンチン)
2016 年: リヨン (フランス)
2013 年: ソウル (韓国)
2010 年: ケアンズ (オーストラリア)
2007 年: ジェノバ (イタリア)
2004 年: バンガロール (インド)

* 第 28 回統計物理学国際会議 (International Conference on Statistical Physics -STATPHYS28-) について

国際物理学および応用物理学連合の C3 委員会 (IUPAP C3 Commission on Statistical Physics) により 3 年毎に開催され、統計物理学分野で最高峰の国際会議です。ここでノーベル賞に次ぐ権威のボルツマン賞が授与されます。統計力学の基礎から複雑系など非線形物理さらには計算物理や生物物理など、理論から実験まで幅広い領域にわたり最新の研究成果が発表されます。会議期間中は約 1,200 名の参加者が集まり活発に議論します。

お問い合わせ先

[国際会議に関すること]

公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー MICE 振興課長 秦 誠一 TEL: 045-221-2111

[パシフィコ横浜に関すること]

株式会社横浜国際平和会議場 (パシフィコ横浜) 総務部 総務課長 山崎 達哉 TEL: 045-221-2122